

夏の大沼水まみれ

1 事業のねらい

安全に楽しく水辺の活動を行い、短い北海道の夏を楽しめる機会を提供する。また、広範囲からの参加者同士の交流により、たくさんの友達との協力場面を提供する。

2 事業の概要

- 期日 R5.8.4(金)～6(日) 2泊3日
- 対象 小学校3年生～6年生 70名
- 人数 63名
- 場所 ネイパル森、大沼
(北海道子ども会育成連合会「北海道子どもキャンプ」との共催)

3 プログラム

				13:00	14:00	14:20	15:10		17:30	19:00		22:00
8/4 (金)				受付	開会式	朝エフ -ション	アクト会議 イブニングタイム		夕食	入浴 自由時間		就寝
	7:15	7:30	8:30						18:00	19:30	21:00	22:00
8/5 (土)	起床	朝のつ どい	朝食	メインアクト Aグループ (いかだ遊び、昼食、選択活動) メインアクト Bグループ (選択活動、昼食、いかだ遊び)					夕食	イブニングタイム キャンプファイヤー	自由 時間	就寝
	7:00	7:30	8:30	9:30		11:30	12:00	13:00				
8/6 (日)		朝のつ どい	朝食	清掃身 支度	フォトスタンドづくり	閉会 式	昼食	解散				

4 ねらいを達成するための活動の工夫

北海道子ども会育成連合会と共催で実施し、ネイパル森はメインアクトの“いかだ遊び”を中心にコーディネートした。

- 「組み立て式いかだ」による活動時間の確保
 - ・ 会場までの移動時間を考慮して、いかだを“組み立て式”にして活動時間を確保するとともに、協力して組み立てなければならぬ要素も残して、協調性の体験機会も確保した。
- 他団体との連携による体験活動の充実と広範囲からの参加者確保
 - ・ 全道組織の団体との連携により、施設外のノウハウを入れた多様な体験機会の提供と、より広範囲の参加者獲得が実現した。



メインアクト (いかだの組み立て)



メインアクト (いかだ遊び)

5 事業の評価

- 参加者アンケートから
 - ・ バランスと浮力の問題で、合計28回いかだから落ちたけれど海や川でおぼれた時の練習になったので良かった。
 - ・ いかだのリレーまでの時間にいっしょうけんめいひもを結びなおしたりして、みんなできょうりよくできるようになりました。
 - ・ 二つの班が1つになって、びっくりしました。
 - ・ もう会えない人とも協力ができた。次はリーダーになってみたい。
 - ・ いつもは函館市内の人だけれど、今回は北海道の色々な町の人に参加していて、最初は不安だったけれど、みんな仲良くしてくれてとてもうれしかった。

企画のポイント

- ・ 条件やねらいに合わせた活動物品の開発。
- ・ 各団体・組織の持つ指導スキルや運営方法、安全管理、ノウハウ等の共有

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 活動エリアの条件やねらいを踏まえた組み立ていかだの開発により、十分な活動時間を確保しながら、協調性を育む活動も実現することができた。
- 全道規模団体と共催し、広範囲の参加者交流ができた。
- 当施設と団体とで、事業運営に関する取組方法が異なり、意思疎通の不備や、確認に時間を要するなどのトラブルが多かった。事前の細部にわたる打合せや意見交換を行うことが必要である。